

特性・問題点

ワークショップやアンケートによる市民意見を踏まえ、館山市の景観まちづくりに関する特性・問題点を整理

海辺

- ◎北条海岸からの眺めがよい
- ◎海岸沿いや洲崎灯台は雰囲気の良い景観である。(恋人の聖地にも認定され、デートスポットになる)
- ◎房総フラワーラインの花はすばらしい。
- 海岸の砂浜や草地は、あまり状態が良くない。
- クロマツ林が減少している。



南欧風の街並み・ヤシの並木

- ◎館山駅西口の南欧風の街並み、幹線道路沿いのヤシ並木は若い世代を中心に好印象である。
- 一方で、白壁にオレンジ瓦の南欧風建物は、「張りぼて感」があるといった印象をもつ市民、来訪者も存在する。



城下

- ◎館山城をライトアップしており、夜景もすばらしい。
- 城下町の面影が減少してしまった。



館山駅東口の商店街

- ◎館山駅東口の商店街は、西口とは全く違う雰囲気である。レトロな感じに親しみが持てる。
- 一方で、寂れた印象がある。



丘陵地

- ◎山の上から見る景色がすばらしい。
- 山の管理が行き届かず、荒れてきた。
- 風力発電施設は、自然景観を崩壊している。



田園

- ◎農道や田園から富士山が見え、景色が良い。
- ◎キジなどの野鳥がいる田園風景がよい。
- ◎防蛾灯、イチゴハウスの補光などは、良い夜景をつくる。
- ◎星空がきれいに見える。
- 田園にあるガードレールや自動販売機などの色彩が、せっかくの田園風景に馴染んでいない。
- 夜道が暗くて怖い。
- 休耕地、耕作放棄地が増えてきた。



集落地・住宅地

- ◎榎の生垣が連なる街並みは、館山らしい。
- ◎古民家を活用したレストランなどが、よい雰囲気づくりをしている。
- 空き家や荒地が増えてきた。
- 狭い道路が多い。
- イノシシが民家の近くまで来るようになってきた。



幹線道路沿道

- ◎バイパス沿いのヤシの並木は、館山らしい。
- ◎バイパス沿いは無電線化して、すっきりした印象である。
- ヤシの葉は大きく、落ちると危険なので対策が必要。
- 沿道の雑草が伸びていて、見た目が悪い。
- 沿道の空き店舗は寂れた印象を与える。



視点場

- ◎崖観音、城山、布良崎神社、能忍寺などの寺社や城のほか、海岸、丘陵、田園等、市内のいたる場所から海や富士山、大島などを眺めることができる。
- 視点場は地元の人以外にあまり知られていなく、アクセス道路やベンチなどの整備は遅れている。



駅舎

- ◎館山駅は、館山市の顔にふさわしいものである。
- ◎那古船形駅は、撮影にも使用される味のある外観がよい。
- 九重駅は、建替えたことにより、以前の良い雰囲気がなくなった。



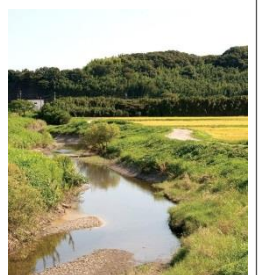
漁村・漁港

- ◎ドラマのロケに使われるなど、景色はよい。
- 最近は寂れた印象がある。



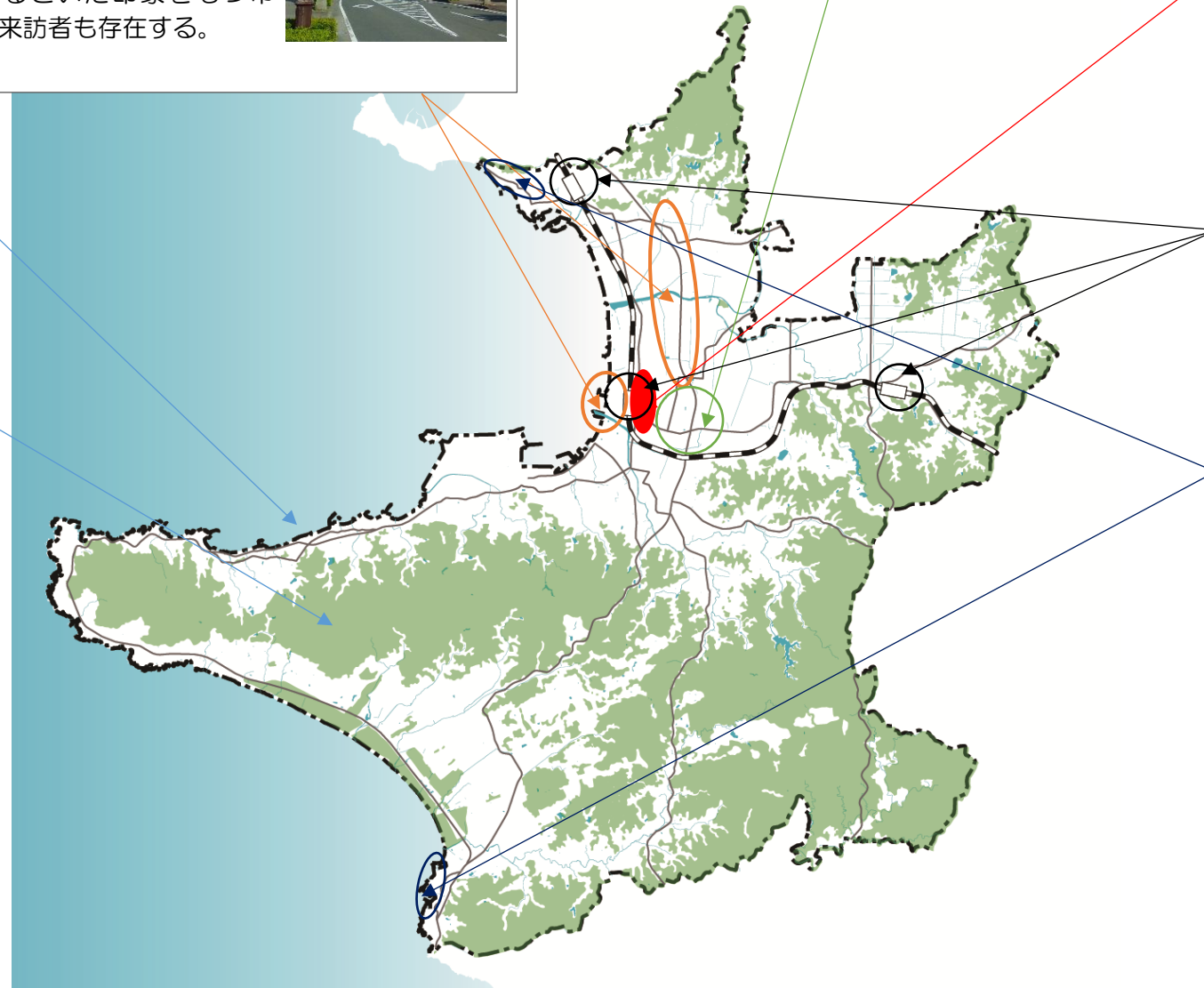
河川・水路沿い

- ◎堰の周辺は桜があり、景色が良い。
- 上流から流れてくる竹や、河川などを伝い現れるイノシシなどにより、下流側の景色がきれいではない。
- 川の土手沿いは、雑草や竹が伸び放題になっており、景色が悪い。



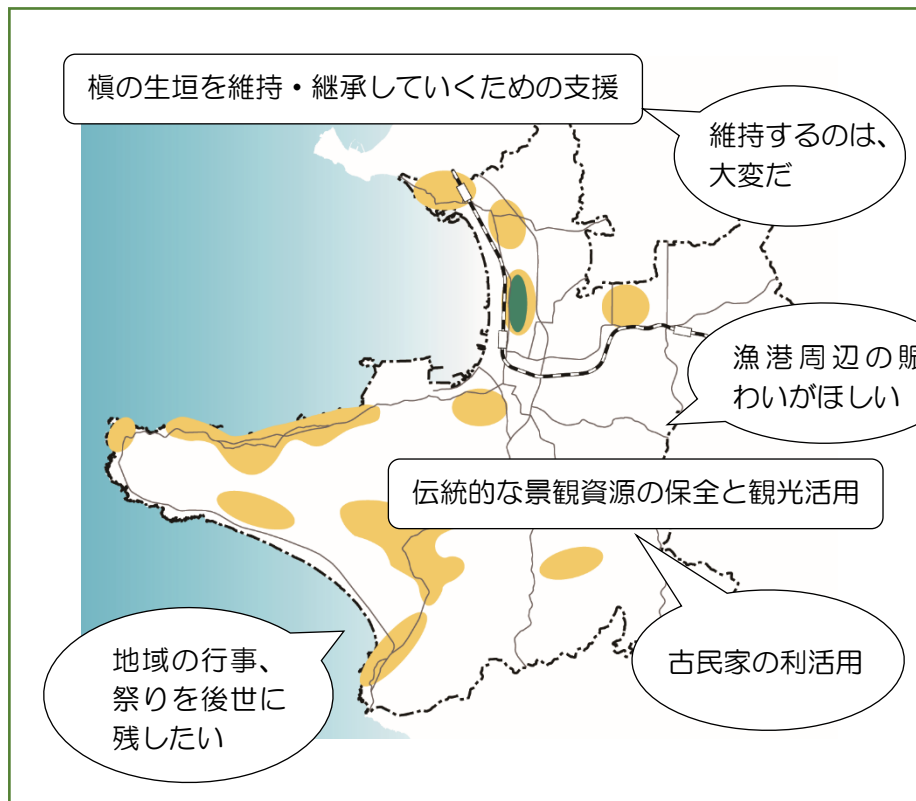
市民の活動

- ◎八幡地区の榎の生垣は、よく手入れが行き届いている。
- ◎小・中学校同士の交流は盛んであり、校舎は地域のコミュニティの場になっている。
- 住民が減って、お祭りの担い手が不足している。今後の継続が不安である。
- 草刈ができない、ゴミのポイ捨てなどの問題が顕在化。

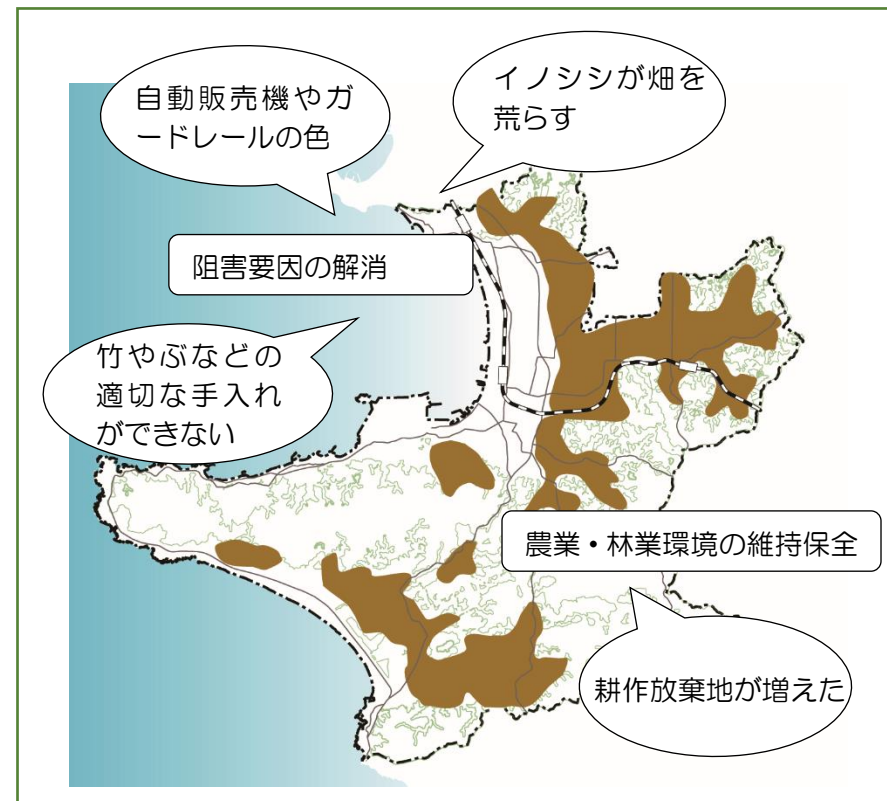




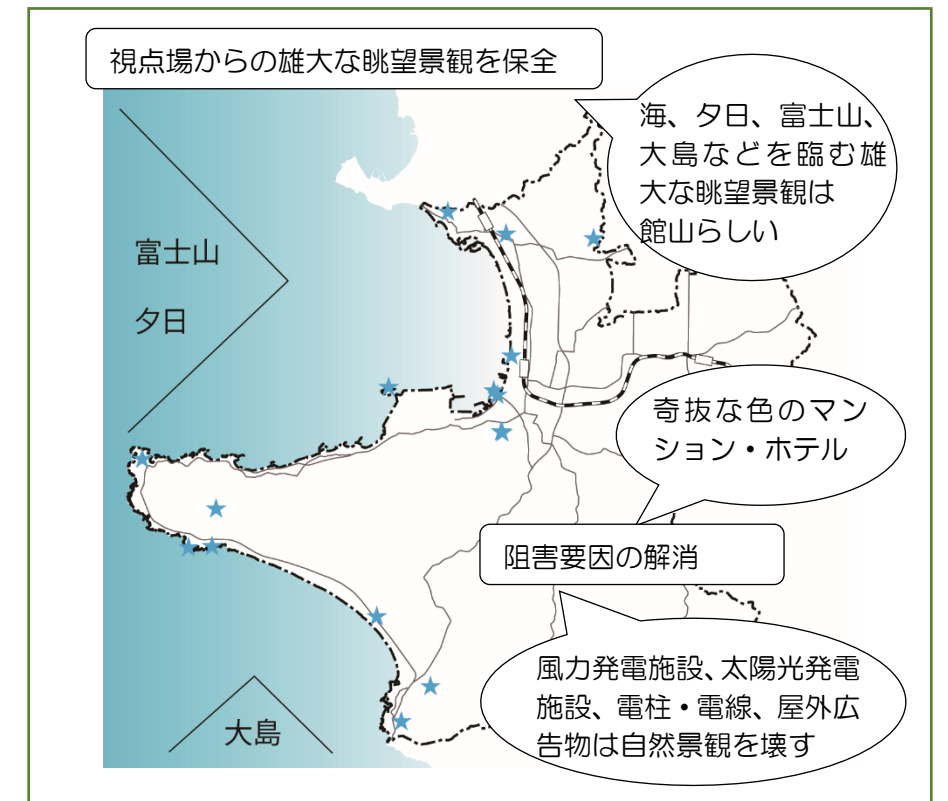
①集落地・暮らしの景観の保全



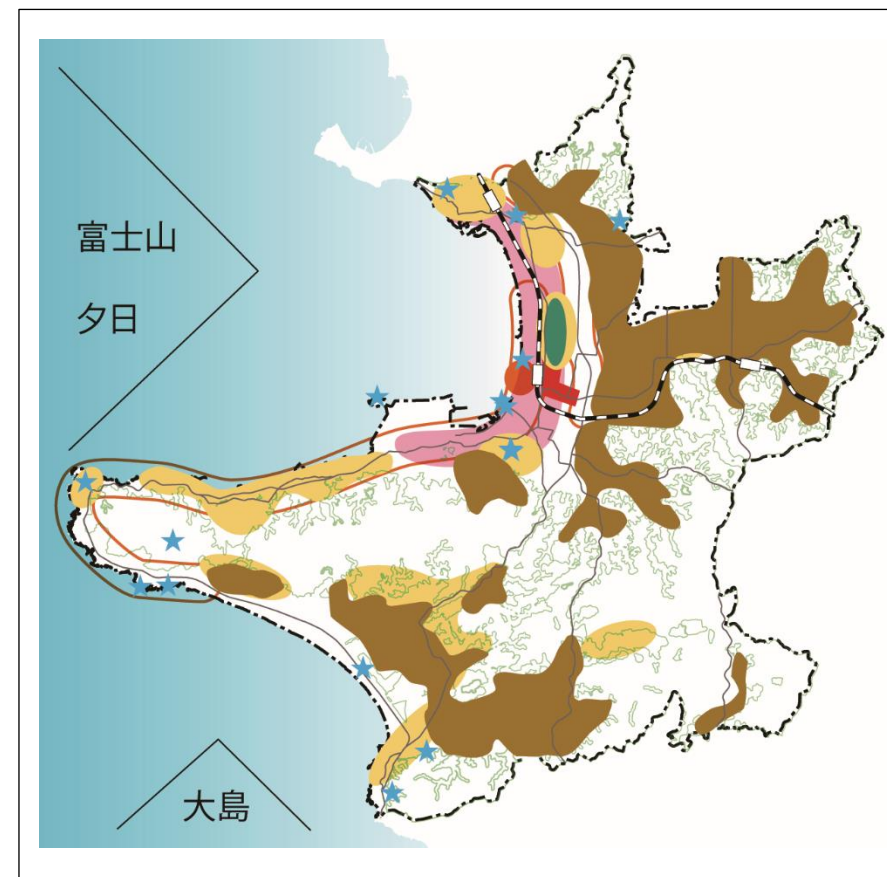
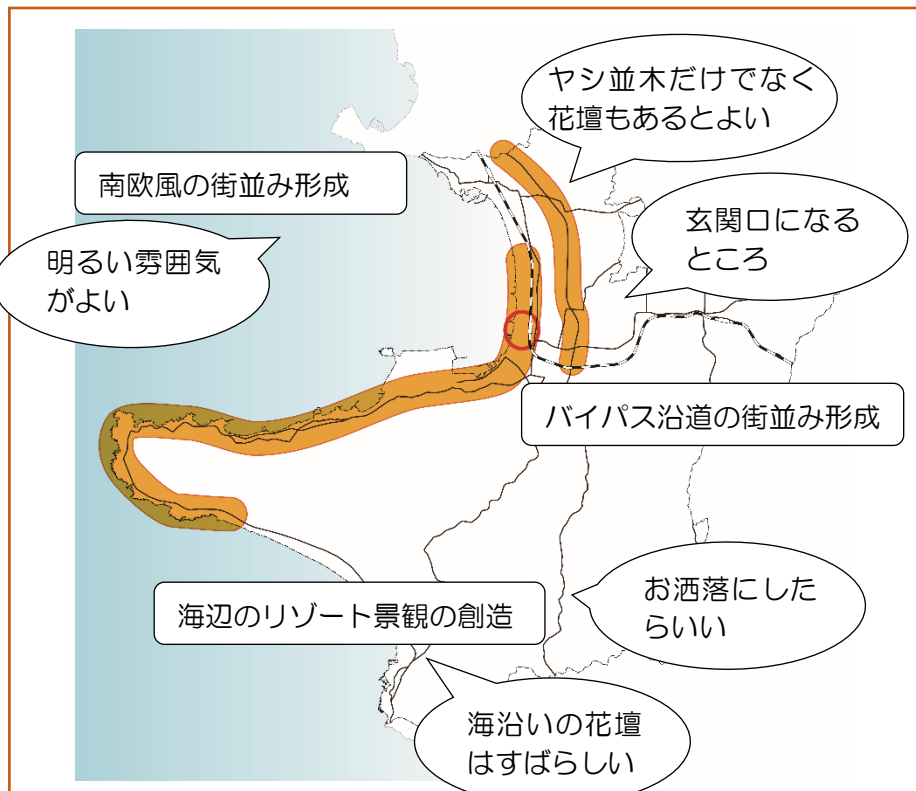
②里山の田園風景の保全



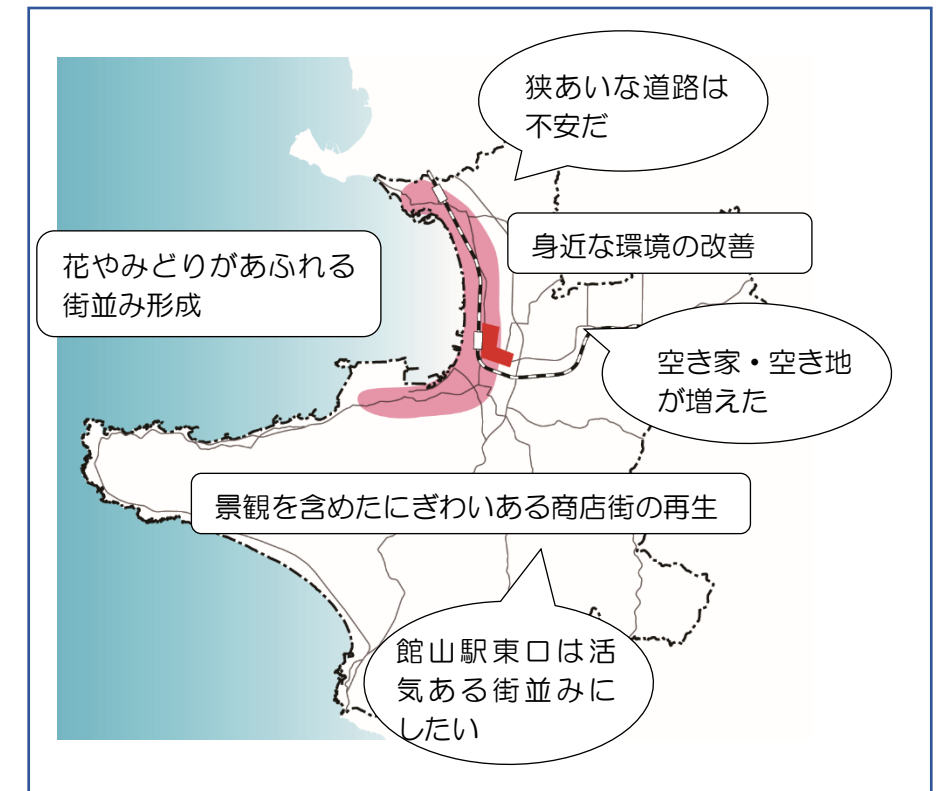
③海・海辺の眺めを保全



④温暖な海辺の雰囲気を活かした街並みを創造



⑤市街地の景観づくり



めざす景観まちづくり

案1  
海を臨み、花や緑に囲まれた、あったかいふるさと景観を未来に継承

案2  
なつかしさと新しさが調和した、個性ある景観を未来に継承  
(まだまだ検討中)

(キーワード)  
輝く海 咲き誇る花 里見の歴史 里山 温暖な風土  
穏やかな 懐かしい 心地よい あったかい  
地域コミュニティ 移住 二地域居住 観光  
未来につなぐ 子孫が誇れるように

取組み方針

館山市において、景観まちづくりに取り組む姿勢として以下の3つが求められると考えます。

まず、穏やかで豊かな海を臨む視点場からの眺めや、先祖が大切に残してくれた里山の田園風景、また八幡地区を中心に館山らしい景観を醸し出している榎の生垣の美しさなど、これまで当たり前を守られてきた景観を今後も守り、未来に継承していくことが大切です。

次に、高齢化や人口減少などに伴い、手入れが行き届かない丘陵地や土手沿いの状況、空き家や空き地の増加、また、駅前商店街の魅力低下や集落地の狭い道路などについては、次世代に館山を継承していくために修復しながら改善していくことが求められます。

さらに、花が咲き誇る街並み、南欧風の街並みやヤシの並木、海岸沿いのリゾート風の街並み、古民家をリノベーションしたレストランなどは、若い世代を中心に館山の魅力として捉えられています。今後、今以上に愛される景観にしていくためにも、新しい魅力を創っていくことも必要だと考えています。

景観まちづくりの基本方針（骨子）

風土	1. 館山の原風景となるふるさとの自然景観を守ります (自然・まもる)	①館山市の骨格となる海辺の景観と海洋資源の保全 ②人々の暮らし、息遣いを感じる里山・田園景観の維持 ③雄大な景色を眺めることのできる視点場の確保
人々の生活・ふるまい	2. 地域に残る景観資源を活かし、館山らしい街並みを継承します (集落地・継承)	①八幡地区を中心に広がる榎の生垣が連なる街並みを維持・継承 ②市内に点在する古民家や蔵などを活用し、観光資源ともなる新しい魅力を創造 ③地域のシンボルとなる歴史的資源の発掘・継承・保全 ④先祖から受け継いだ「祭」を後世に残すため、舞台となる街並みと地域コミュニティの維持・継承
	3. 館山の温暖な気候・風土を活かし、魅力的な街並みを創ります (市街地、沿道・つくる)	①館山らしさを象徴する、一年中、花が咲き誇る街並みを維持・創出 ②館山の玄関口ともなる幹線道路での沿道景観の形成 ③協働による南欧風の街並みの維持
	4. 館山らしさを活かしながら、うるおい豊かで心地よいまちづくりを進めます (市街地、集落・改善)	①館山駅東口商店街のにぎわいと城下町景観の再生 ②空き家、空き地の適切な管理と利活用方策の検討 ③緑豊かで安心して歩ける身近な歩行環境の改善と街並み形成 ④花による彩りを加えながら、公共施設（道路、公園等）の整備・改善
組織・ルール	5. 効果的な景観形成に向けて組織づくり・ルールづくりを進めます (全市・取り組み方)	①市民・事業者・行政の協働による景観まちづくり ②景観まちづくりの制度やルールづくりの支援 ③イノシシ対策など、庁内連携、広域連携による景観まちづくり

アンダーライン：市街地整備や環境対策など景観行政の枠を超えるもの

